

ぼうさい万年

令和7年11月 第2号

玖 珠 地 区 防 災 士 会

みんなで減災

あなたにもできる減災！

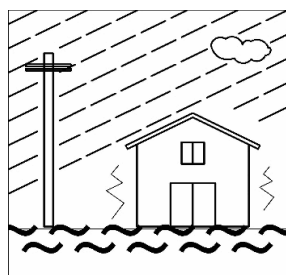
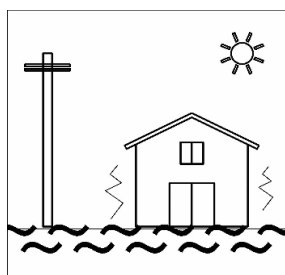
“減災”とは、災害による被害をできるだけ小さくする取り組みです。地震、津波、風水害など、自然災害は突然やってきます。あなた自身、ご家族、地域の皆さんで、しっかり備えましょう！

防災訓練をしませんか。

想定シナリオの作成

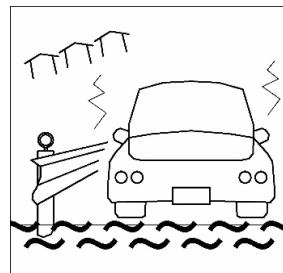
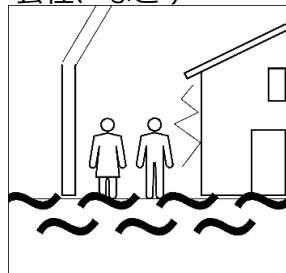
地震はいつどこで起きるかわかりません。

いつ（春、夏、秋、冬） （朝、昼、夜、夜中）（晴れ、くもり、降雨、気温が高い、低い）

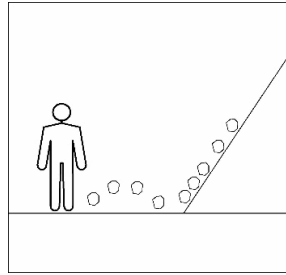
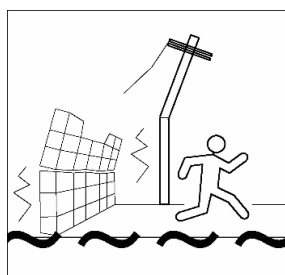
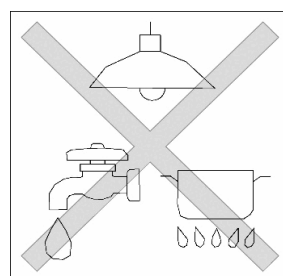
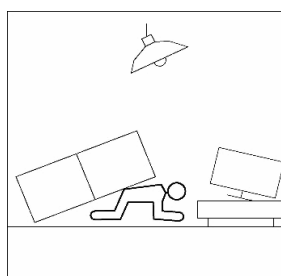
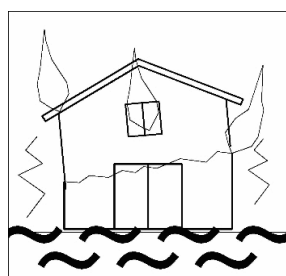
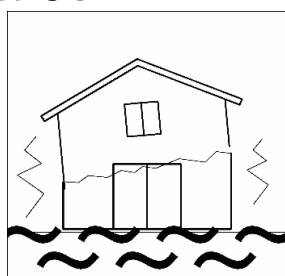


どこで（自宅、学校、会社、買い物、旅行、など）（車運転中、列車）

誰と（一人、家族、友人、会社、など）

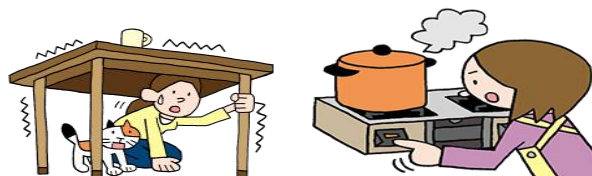


どうなる



緊急地震速報を聞いたら、まず身を守れ！
ぐらっときても、慌てず冷静、頭を保護して机の下へ！揺れが収まれば、安全確認、火の始末をして危険回避！慌てる行動、けがのもと、守ろう命、落ち着いて！

震度3 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人の大半が目覚めます。（緊急地震速報）



次ページに続く

地震後の行動

地震の揺れが収まった後も、慌てずに身の安全を確保しながら行動することが重要です。

- ・ドアや窓を開けて脱出口を確保
- ・火を止める
- ・土砂災害の危険がある地域にいる場合はすぐに避難

避難の準備

- ・靴を履く
- ・非常用持出品を手近に用意

状況の判断

- ・テレビやラジオなどで**正確な情報**を確認
- ・家屋倒壊の危険があれば避難
- ・離れた家族の安否を確認

隣近所の確認

大地震直後は、倒壊した建物からの救助が重要ですが、救助隊は道路被害などで到着が遅れることがあります。

そのため、隣近所で助け合うことが大切です。

地震直後の被害

建物の倒壊

火災が起こる

津波が起こる

電気・ガス・水道が使えなくなる

電話やインターネットが繋がりにくくなる

列車などの公共交通機関が動かなくなる

道路が通れなくなる。

災害に備えて必要な備蓄品

いつも使うバック

- ・飲料水（500ml）
- ・あめ玉、チョコレートなど
- ・小型ライト
- ・免許証、保険証
- ・財布（現金）
- ・常備薬 等

備蓄品

水：1人1日3リットル 最低3日分

食料：パックごはん、即席めん、乾めん、缶詰、レトルト食品、スナック菓子

停電対策：懐中電灯、予備電池

情報入手：携帯ラジオ、スマートフォン用バッテリー

ガス：ガスコンロ

ローリングストック：日常的に使う食品を

多めに買い、消費したら補充

- ・ふだん食べている食材を多めに買って、蓄える
- ・ふだんの食事で食べる
- ・食べたら買い足して、補充する

『ユレルンダー』体験

大分県の地震体験車「ユレルンダー」で、地震の揺れをリアルに体感してみませんか？

防災知識を楽しく学び、家族みんなで気軽に体験！安全な暮らしの準備を始めましょう。

8月23日（土）山浦地区（旧春日小学校）



『ユレルンダー』

8月24日（日）玖珠自治会館（西側駐車場）

